

法友

かわらばん

No. 6

発行日 2022年12月15日

発行

大阪弁護士会法友倶楽部

幹事長 森 直也

編集者

法友倶楽部広報委員会

委員長 山田敬子

編集長 原田裕康

印刷 (株)耕文社

表紙題字 故 滝井繁男先生

会派に入りませんか？

令和4年度 法友倶楽部幹事長 森 直也 (53期)

2022年度執行部の活動も後半戦に入りました。この間、恒例の夏のビアパーティーは、9月15日に70名近いご参加を頂き、何とか開催することができました。また10月29日には、親睦委員会主催のバーベキュー大会も開催されました（たくさんのお子さんが参加されて楽しい一日でした）。ジュニア部でも、毎月の定例会で親睦が図られているようです。



こういった会派の行事に参加していると、時折不思議な気持ちになることがあります。別に昔からの知り合いでもなく、同じ事務所でもない。ただ会派が同じだけの先輩、同期、後輩なのに、そこに何か特別な結びつきを感じるときがあるのです。それは、先輩方が脈々と繋いできた会派の「歴史」のなせる技なのでしょうか。「弁護士」という、ある種孤独な仕事に従事する中で、全く利害の関係がない「会派」という集まりに、心の安らぎを感じるからでしょうか。

大阪弁護士会において、会派に所属していない、いわゆる「無所属」の会員は、全会員の20%を超えています。4848名の会員中、じつに1088名の会員が無所属の会員なのです（2022年11月現在）。

無論、会派に入ることは義務ではありません。また会派のできる人間関係など、かえって煩わしいと感じる人もいるでしょう。ただ、業務に追われる日々の中、ほんの少しホッとできて、ほんの少し人との関わりに暖かさを感じられる会派活動も、悪いものではありません。

皆さん、会派に入りませんか？

総合法律相談センターに関する取り組み

令和4年度 大阪弁護士会副会長 井崎 康孝 (54期)

本年度執行部では現在いくつかの施策を進めていますが、今回は紙面をお借りし、それらのうち総合法律相談センターに関する取り組みをご紹介します。



まず前年度に続き、今年度も①オンライン法律相談（有料）と②EAPサポート法律相談を推進しています。①は本年4月から開始したのですが、利用件数が少ないため、法律相談料のクレジットカード払い開始、予約ページの見直し、一部の自治体との連携等によりテコ入れを図っています。②は今年度、パイロット事業として1社と契約を開始しました。今後さらに契約件数を伸ばし、本契約にも繋げていきたいと思っています。

さらに今年度からは、③予約サイトでの相談担当者の氏名、取扱分野等の開示、④「枠」で実施する専門相談の原則廃止、⑤弁護士2名による共同相談の一部導入などを検討しています。③は第二東京弁護士会が既に実施しています。当会には研修・実務要件を課した多彩な専門相談、分野別登録の制度がありますので、市民がそれらを見ながら自分で相談担当者を選ぶようにし、そのニーズに応えるとともに、相談件数、受任率の増加に繋がりたいと思っています。④は、③が実現すれば専門相談「枠」の必要性は大幅に減るはずですので、原則として「枠」を撤廃し、法律相談事業の効率化を図る狙いです。⑤は、主に若手会員のOJT、受任及び専門性獲得の機会の確保等が狙いです。

ぜひご意見をお聞かせください。

『終活契約の実務と書式』 が出版されました

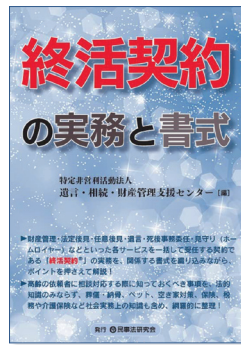
海野花菜 (60期)

法友倶楽部80周年記念事業の一つとして、2011年3月8日、特定非営利活動法人 遺言・相続・財産管理支援センター（以下「NPO」といいます）が設立され、約10年が経過しました。NPOには、弁護士、税理士、司法書士、大学教授等が所属していますが、法友倶楽部の会員が約8割を占めております。

この度、NPOは、2022年9月に、法友倶楽部の弁護士が中心となって執筆、監修した『終活契約の実務と書式』を、民事法研究会から出版しましたので、NPOの活動報告として紹介させていただきます。

NPOは、その名称にもありますように、主に相談者・依頼者が人生の最終章を迎えるにあたって、遺言や相続といった問題に対処する際の相談機関の一つでありたいと活動してきました。その中で、遺言や相続といったこれまで弁護士がかかわってきた分野だけでなく、相談者が老後の生活や自身の死後に不安なく、最後まで自分らしく生きるために専門家として何ができるかを検討し、「終活契約」としてまとめられないかと考えました。

終活を考えている相談者は、①財産管理契約、②ホームロイヤル契約（見守り契約）、③死後事務委任契約、④法定後見制度の利用、⑤任意後見契約、⑥遺言の作成、⑦尊厳死宣言など、弁護士との間で複数の契約の締結をすることを検討することになります。こ



れらの契約に関し、一つ一つ委任契約書を作成すると、何度も署名押印をしなければならず、負担が大きくなります。また、必要な契約の締結忘れや、検討漏れが生じる可能性もあります。そのため、NPOでは、依頼者と弁護士の双方が利用しやすいよう、できる限り一度に終活に関する委任契約をまとめて行うことのできる「終活契約書」を考案しました。本書では、「終活契約書」のひな形を提案して掲載しており、購入者はダウンロードも可能です。

その他、法的知識のみならず、空き家対策、デジタル関連財産、ペット、保険、税務や介護保険など終活に関わる実務についても分かりやすく記載されていますので、皆様にご利用をいただけましたら幸いです。

NPOでは、出版・講演活動の他、インターネット動画作成等も行っており、新規会員も募集しています。ご興味のある方は、当事務所（電話072-821-5505）まで、ご連絡をいただけましたら、ご案内いたします。

引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

ビアパーティーを 開催しました！

副幹事長 辻村幸宏 (55期)

9月15日(木)午後6時半から午後9時まで、大阪駅直結のラグナヴェールプレミアにて3年ぶりとなるビアパーティーを開催しました。

当初予定を感染の波が落ち着くまで延期して開催し、会員、会員家族、事務局、修習生総勢69名にご参集いただくことができました。

午後5時半過ぎに会場入りすると、既に2人の仕事人が！ ビンゴのエキスパートである63期村上崇会員と親睦委員長金泰弘会員です。2人でビンゴ景品の確認と陳列を既に終えてました！ こういう陰の貢献が会派のイベントを支えているのですね。

6時半となり、ビアパーティー開会。拡大幹事会なのでちゃんと審議事項もこなします。森幹事長からご挨拶。幹事長、久しぶりの開催を心から喜んでます。お声も明るい。そして井崎副会長から会務報告、は控えめに。ちょうどお越しになっていた立石裕人会員の新入会員入会承認。推せん委員会で翌年度の副会長候補者として推せん決議を受けた川本真聖会員からも御礼と決意のご挨拶。

超速で議事を進め、懇親会スタート。大川一夫会員から乾杯の御発声。恒例のちっちゃいビールでカンパイ！

しばしご歓談の後、余興に呼んだバンド、地獄からきたサーカス団こと「ロックンタスケロール&ザ・キャプテンズウィング」（長い！）のご登場。最初はとまどっ



ていたお客さんたちも飲食談笑しつつ、小芝居や長尺MCを厭うことなくお楽しみいただいたようです。伊勢崎町ブルースの替え歌「弁護士あるある」(志津香の特選鰻重が4400円だの、弁護士バッヂを落とすと恥ずかしいだの、この日のために作って披露してくれた歌)がちょっとウケてて安心しました。ちなみにボーカル&バンジョーのタスケロールは、大正で「ハンバーガーママ」というバーガー酒場を、ウォッシュボードのMr.パノは、西天満で「パノラマ島」というバーをやっていますので、ご興味ございましたらひやかに行ってあげてください。

さて、ちょっと休んでお待ちかねのピンゴ大会。親睦委員長の金会員がやや高圧的に司会進行。竹岡会員、森幹事長、井崎副会長らにご提供いただいたFireタブレット、小型プロジェクター、Apple Watch (すいません、ウチが貰っちゃいました)などの豪華賞品に加え、Nintendo Switchなどを奪い合います。会場からワイン、タスケロールからもTシャツ等も提供いただいて、老若男女大いに盛り上がりました。ピンゴした人が嬉しそうに前に出ていくのが楽しいねえ。

締めのご挨拶は福原会員から。法友倶楽部の会員が中心となっているNPO法人で出版した『終活契約の実務と書式』の宣伝を織り混ぜてお話しいただきました。

コロナ禍でこういう機会が少なかったこともあり、参加の皆様にはお楽しみいただけたようで、常幹一同感謝です。来年はもっと盛大に開催されますように。



9月29日・30日 日弁連人権擁護大会 (旭川) 参加報告

大橋さゆり (51期)

リアル参加しました

コロナ禍も3年目を迎え、最高の流行だった第7波が心配な中でしたが、私は「旭川大会へ行く」ことは決めていました。ある先輩弁護士が大阪から札幌へ移籍されたので、新事務所を訪ねたかったからです。

28日に札幌入りし、29日に旭川へ電車で移動。シンポと大会の2日間の日程の後、土日は旭川から札幌へレンタカーで移動、白老(ウポポイ)を回って帰ってきました。

29日 シンポジウム

今年度のシンポは、第1分科会が高レベル放射性廃棄物・持続可能な社会の実現、第2分科会がデジタル社会・自己情報コントロール権をテーマとするもので、私は原発訴訟の代理人をしている関係で、第1分科会の方に参加しました。

例年のことですが、シンポは5時間半に及ぶ長さでした。地層処分から地域社会再生まで、興味深いテーマでパネルディスカッションなどがなされました。

30日 大会

まず大会前の午前に映画『すばらしき世界』の上映会がありました。旭川刑務所を満期出所した元ヤクザ(役所広司)が主人公の、更生に向かう難しさと周りの支援者たちの姿を描いたよい作品でした。

大会の今年度の決議案は第1分科会、第2分科会のテーマに即したものと、第3として旧優生保護法による優

生手術等に関する被害回復、第4としてアイヌ民族の権利の保障を求めるものでした。議長は日弁連人権擁護委員会委員長で大阪の金喜朝会員でしたので、応援のつもりで参加しました(ただし第2決議案審議から)。

人権擁護大会の審議と議決は、定期総会などと同じですが、違うのは「定足数」がないことです。つまり日弁連理事会で実質的審議をして承認を得た決議案への信任決議の意味合いです。しかし一般会員が反対意見を述べる場が保障されており、修正動議が出されることもあります(2016年福井大会での「死刑廃止決議」のときも棄権者が多数出ました)。今回、日弁連の国際交流委員会委員長から書面で、アイヌ民族の権利保障決議は現状の世界情勢の下ではロシアの拡張主義を利するという内容の意見が出て、場がざわつきました。賛成多数で可決承認されましたが。

法友の懇親会

大会の後は18時から、予約していただいた「居酒屋 天売」で北海道の幸を楽しみました。福原先生のお連れ合いが日本酒を飲ませない断固とした態度をとられたこと、西先生のパワーが全開で、友新の三木秀夫先生が幹事長と山岸先生を伴い訪れた後、差入れの地酒「男山」の瓶を抱えて放されなかったことが印象に残っています。

最後に、来年度の人権大会は、10月5日6日、長野で開催です。



人権擁護大会



懇親会

法友倶楽部ウェブサイトについて

辻村幸宏 (55期)
山田敬子 (56期)
中島裕一 (66期)

法友倶楽部では、90周年記念行事として法友倶楽部の公式ホームページを作成し、今後、広報委員会で運営してまいります。

今般完成したホームページでは、大阪弁護士会のホームページ同様、法友会員向けの階層を作成し、希望者は市民向けにも自己紹介ページをもつことができると同時に、法友会員内の交流のための自己紹介ページとすることが可能です。自己紹介の作成のためのGoogleフォームについては先般メーリングリストでご案内しておりますが、あらためて下記にQRコードを掲載しますので、是非登録していただきましたら幸いです。



↑自己紹介フォームのQRコード

法友会員向けページは、行事のアルバムを掲載したり、行事予定をGoogleカレンダーで確認したり、会誌のバックナンバーを閲覧できるようにして、法友会員の交流にお役立ていただければと考えております。今後、鋭意コンテンツを充実させていきますので、応援の程よろしく願いいたします。



↑ホームページのQRコード

法友倶楽部への入会にご興味がある方は、入会案内もホームページに記載がありますので、ぜひご覧ください。

HGC優勝できました

(出来レースじゃないよ)

山内邦昭 (67期)



令和4年度第1回HGCに参加させていただきました。今まであまりHGCに参加したことはなかったのですが(一度、豪雨の淡路島に行っただけです)、今回は事実上開催場所の選定にも携わらせていただいたということもあり、のこのことお邪魔いたしました。

今改めてGDOアプリに登録したスコアを見直してみると、出だしのパー5で3パットのボギーを叩いた後、次の短いミドルではバーディーが取れ乗っていかれるかと思いきや、次のミドルでOBからのダブルパーと、内容は決して褒められたものではなかったのですが、そこからは何とかおとなしく耐え抜いて、トータル79で終わることができました。上記のとおりHGCに行っていなかったことからハンデが36もあったので、結果的に、不滅の大記録を打ち立てて優勝となりました。ということで不公正な出来レースだという誹りも一部では受けているような気が何となくいたしますが、運?も実力のうちということでご容赦いただければと思います。これからはしっかりと実力で勝ち切ることができるように、さらに精進いたします。

あいつは1回だけおいしいところをかつさらってまた姿を見せなくなったと言われたいよう、今後とも定期的にHGCには参加させていただきたいと思っております。

そのときにはきつと、短いパットを外して何らかの鳴き声を上げている可愛い生き物(山内)がご覧いただけます。

順位	氏名	OUT	IN	GR	HD	NET
優勝	山内 邦昭	41	38	79	36.0	43.0
2位	山岡 直人	35	42	77	10.0	67.0
3位	高見 晋祐	49	57	106	36.0	70.0
4位	片岸 寿文	41	39	80	7.0	73.0
5位	天井 友香	47	52	99	24.0	75.0
6位	田中 章弘	50	54	104	27.0	77.0
7位	高山未奈子	60	56	116	36.0	80.0
8位	都 裕記	47	49	96	16.0	80.0
9位	福原 哲晃	57	48	105	22.0	83.0
10位	安藤 良平	60	62	122	36.0	86.0
11位	井崎 康孝	60	63	123	35.0	88.0

料理教室

都 裕記 (71期)

こんにちは、71期の都です。去る7月10日、親睦委員会企画の料理教室が行われました。

料理のテーマは「初夏の彩りBBQメニュー」で、清水涼先生(62期)の奥様を中心とした講師陣に料理を教えてくださいました。オンラインでも同時開催されており、私は実家から家族らと共に参加いたしました。当日はオンライン、現地ともに多数のご参加があり、皆さん家族と一緒に和気あいあいと料理を楽しんでいらっしゃいました。

メニューは、「スペアリブと付け合わせ野菜等」「オレンジとプチトマトの蜂蜜マリネ」「ガーリックバタートースト」「ハッセルバックアップル」という、おしゃれBBQメニューの目白押しでした。どれも今まで作ったことのないようなメニューで、難しいかと思っておりましたが、講師の方々が丁寧に教えてくださり、また質問もしやすい雰囲気を作ってくくださったおかげで、無事おいしく作ることができました。

その日は、実家でBBQをしている途中だったこともあり、姪っ子らにいつもと違うおしゃれな料理を食べさせてあげられました。オンライン開催のおかげです。今後も場所を問わず気軽に参加できるこのような形の企画があれば楽しいなと思いました。

さて、私事ですが、今回の親睦企画には結婚したばかりの妻と参加いたしました。妻とは昨年コロナ禍の中、福岡で出会いました。お互いお酒や旅行好きですぐに意気投合しました。そして、遠距離恋愛を約一年間続けたのち、プロポーズをし、結婚に至りました。友達や同期、両親からも僕は結婚できないと思われていたので、脱却できてほっとしています。最近仕事に飽きてきたので弁護士業をやめて海外放浪でもしたいなと思っていたのですが、家族を養うためやめられなくなってしまいました。もう少し頑張ります。みなさま、今後とも

よろしく願いいたします。



3年ぶりの運動会!

植田かおり (70期)

仁田純佳 (74期)

三連休中日の令和4年10月9日、万博記念公園で大阪弁護士会大運動会が開催されました。紙面の関係で詳細は泣く泣く省略しますが、3年ぶりの開催ということもあり、どの競技も白熱した戦いが繰り広げられていました。応援するだけでも楽しく、特にお子様の参加する競技は、観ているこちらが大変温かい気持ちになりました。

当日は分厚い雲に覆われた空模様で始まりました。雨雲が迫り小雨もパラパラと降り出したことから、午後の競技が大トリの各派対抗リレーのみとなりました。リレーは事前にエントリーしたメンバーで走りますが、競技時間が2時間ほど前倒しとなるという想定外の事態となり、メンバーを急遽変更することになりました。最終的に今年は、植田、仁田、中嶋勝規先生、大原靖史先生、中島裕一先生、竹田仁先生、渡邊陽介先生、町野達也先生の8名(走者順)で出場しました。競技開始前になると、各会派の走者が思い思いにウォーミングアップを始め、会場にはただならぬ闘志が立ち込めていました。走者全員位置につき、スタートの合図で一斉に走り出しました。今年は最後まで誰も転ぶことなく、荒々しくも華麗なチームワークで次々とバトンが繋がり、900メートルを完走した結果は4位でした。残念ながら優勝とはいきませんでした。ぶっつけ本番とは思えないほどのバトンワークには目を見張るものがあり、それが各先生方の力強い走りと相まって、魅せるリレーでした!! 来年こそは、優勝をかつさらいたいと思いますので、ぜひ皆さん、ふるってご参加ください!



こちらはラグビーリレー走者の面々

ジュニア部 旅行報告・活動報告

中島裕一 (66期)



令和4年度ジュニア部代表幹事の中島裕一です。今年度は、67期の玉野まりこ先生、73期の竹田仁先生と3人でジュニア部を運営してまいります。

さて、つい最近北海道にジュニア旅行に行ったばかりのような気がしていたのですが、あっという間にジュニア部代表として活動できるのも残すところあと半年を切りました。旅行や追いコンで良いスタートを切れたおかげで、今年度は新入会員の先生や、初めてジュニア部の顔を出すという先生もおり、多数の方々にご参加いただいております。



新型コロナウイルスの影響で前年度のイベントがずれ込んだ影響で、今期はジュニア旅行が2回（1回目は74期の先生方の歓迎旅行、2回目は75期の先生方の歓迎旅行）、追いコンも2回（62～65期）実施予定です。

そのため、今年度後半は忘年会、ジュニア旅行（2回目）、追いコン（2回目）と大規模イベントが目白押しです。臨時総会のオークションも、親会の先生方のご協力をいただいて、ジュニア部で盛り上げてまいります。

この間、例会も毎月開催しており、ありがたいことに多数の先生方にご参加いただいております。

7月には、副会長候補者の意見を聴く会を実施し、55期の川本真聖先生にお越しいただいて、貴重なお話を聴かせていただきました。川本先生のお人柄もあ

り、ジュニア部のメンバーからも質問が飛び交い、盛況となりました。

8月には62～64期の先輩方を対象とした追いコンを実施しました。微妙な時期ではありましたが、なんと49名もの先生方にご参加いただき、過去最大級の盛り上がりとなりました。

9月には趣を変えて、66期の瀧井先生、隅田先生にご担当いただいて、陶芸教室を実施しました。日頃の仕事の鬱屈を忘れ、目の前の土に集中するという貴重な体験となりました。



10月には、リアル脱出ゲームを開催しました。脱出ゲームとは、様々な場所を舞台に謎を解いて、そこから「脱出」することを目的とした体験型ゲーム・イベントです。4～6人でチームを組んで、わいわい言いながら一緒に挑戦し、親睦を深めました。



今後、11月例会としてボイストレーニングを予定しています。ボイストレーニングは66期の福本先生にご担当いただき、いずれもジュニアの親睦企画として盛り上がるようご準備いただいております。12月は忘年会を実施し、来年以降も楽しい企画を用意してまいりますので、ジュニア部の皆様、お誘いあわせのうえ、是非是非ご参加ください。

「花の会」への初めての参加

永木友雪 (64期)



はじめまして、64期の永木友雪と申します。

法友倶楽部に入会してから会派活動にはほとんど参加させていただいてこなかったことから、花の会にも一度も参加したことがなく、MLで開催案内を見て、毎回、行ってみたいなあ、と思いながらも10年以上の時間が過ぎてしまいましたが、今年、勇気を振り絞り、参加表明をさせていただきました。

7月8日のリモート開催の日、緊張しながら参加させていただいたところ、大橋先生をはじめ、同期の谷岡先生、花の会に参加されている先生方が、初めての参加にもかかわらず、温かく迎えていただきました。9月2日のリモート開催にも参加させていただきました。



「花の会」は、昼食を食べながらテーマに沿って、それぞれのご経験等をざっくばらんに発言されるという形式で進行され、とても和やかな雰囲気です。

上記2回の開催日においては、終了した事件記録の保管方法や破棄のタイミング、事件のデータ管理や事務所内での共有方法、独立時の準備事項等、普段の業務において誰でも悩んだことがあるテーマについて、それぞれのご経験や悩み事をお聞きでき、とても有意義な時間を持つことができました。

まだまだ女性の割合が少ない業界の中で、様々な年代の先生方とお話しできる貴重な機会ですので、厚かましく、これからも参加させていただきたいと思えます。また、私のように足が遠のいておられた先生がおられましたら、とても気軽に参加できる会ですので、是非ご参加いただければと思います。

あかちゃんが生まれました

青木佑馬 (70期)



令和4年夏、我が家に元気な女の子が生まれてきてくれました。

コロナ禍のため、出産に立ち会うことはできず、生まれてからも退院までの間は病院への立ち入りも禁じられていたため、会えたのは生まれてから1週間後でした。

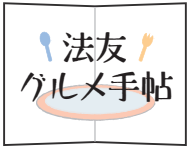


生まれる前に娘を持つ先生方から、女の子はメロメロになると事前に聞かされていたのですが、おっしゃる意味がよくわかりました。毎日、メロメロです。特に娘からニコッと笑いかけられると自然と顔がにやけてしまいます。里帰り出産であったので、毎週末は必ず会いに行き、夜間の授乳やお風呂を担当して子どもとの触れ合いの時間を持ちました。10月には里帰りから帰ってきて、今は家族3人であただしくも楽しい日々を送っています。

娘を見ていると驚きの連続です。いつの間にか物が見えるようになって、物を掴むことができるようになって、一人で遊ぶようになりました。成長速度がうらやましくも思います。

今年度は、常任幹事で、親睦委員の担当もさせていただいております。親睦行事の料理教室や先日のビアパーティーなど、リアルでの行事も増えてきました。ゆくゆくは、娘と一緒に参加できればと思っています。

ちなみに、同期の東井先生のところにも元気な女の子が誕生したそうです。併せて私の方からご報告させていただきます。



第12回 川本真聖先生

日本酒とお料理のマリアージュ
「マキショウ」

玉野まりこ (67期)



久しぶりの「グルメ手帖」、今回は、川本真聖先生おすすめ、日本酒を堪能できるお店「マキショウ」へ行ってきました。川本先生が弁護士登録をされた頃に、前身のお店である「蔵朱」と出会い、何度も通ってお酒を覚えたそうです。今回は特別に、お料理に合う日本酒をペアリングしていただきました。ご一緒させていただいたのは、私のほかに、お酒は底なしの竹田仁先生(73期)、いかにも日本酒が好きそうな雰囲気の方の安齋美智代先生(74期)です。

とりあえずのビールも無しで、まずは「独楽蔵」で乾杯です。フレッシュな酸味のあるすっきりとした味わい。お料理が出てくる前にすすいと飲んでしまい、一品目のお料理「イサキ、富田林の海老芋、白味噌の椀」をいただき始めた頃にはなくなってしまいました。お料理の二品目は「天王寺かぶの菜っ葉、シメ

ジ、湯葉のおひたし」です。天王寺かぶという伝統野菜があることを初めて知りました。なんでも、長野県名物「野沢菜」は、その昔関西から持ち帰った天王寺かぶの種を蒔いたところ、菜っ葉ばかりが育って漬物にするようになったと言われているそうです。三品目「鯖のきずし、おから和え」と山形の地酒「別嬪」は、4人とも唸るほどの美味しさでした。七品目の「穴子肝と山椒のパテ」と「水龍」も抜群の相性で、「穴子が天に昇って龍になったような味わい」(川本先生談)でした(完全に酔っ払いですね)。しめは秋らしく、栗ご飯とお味噌汁をいただきました。お料理を引き立ててくれる10種類の日本酒を味わうことができ、大満足のひとときでした。

ところで、川本先生は、9月5日に行われた第2回推薦委員会にて、次年度大阪弁護士会副会長候補者として推薦することが全会一致で承認されております。今回お会いした際には、次年度に向けた抱負などをお聞きする予定でしたが、日本酒とお料理を楽しみ過ぎてすっかり忘れていました。川本先生、次年度に向けてお忙しい時期にお付き合いいただき、ありがとうございました。ジュニア部一同応援しています!



編集後記

かわらばん第6号をお送りします。コロナ禍も幾分落ち着きリアルでの行事も徐々に開催できるようになりましたのでカラー写真付きでのご報告が掲載されています。ぜひお楽しみ下さい。(山田敬子)

かわらばんも第6号まで重ねてきました。会員間の交流が増えてきて、徐々に充実した内容をお届けできるようになってきたと思います。引き続き宜しくお願いいたします。(田中章弘)

かわらばんの発行が始まった当初は行事も少なくページを埋めることも大変でした。次第に行事が増えておりますのでタイムリーな情報発信に寄与できる媒体となれば幸いです。(藪根壮一)

今回も、たくさんの執筆担当者の先生方、副編集長の先生方、耕文社さんにご無理をお願いして発行にこぎつけることがで

きました。厚く御礼申し上げます。今年度は各行事が復活し、紙幅のやり繰りに苦勞するほどでした。これまでの自粛の日々を思うと「春の訪れ」のようであり、とても嬉しいことですね。これを機にあらためて各行事でみなさんとお会いできれば一層うれしく思います。ぜひぜひ、お気軽にご参加下さい。リアルでお会いしましょう。(原田裕康)

初めて法友かわらばんの編集を担当しました。あまり法友の活動に参加できていないのですが、編集作業を通じて会員の知り合いが増えたり、様々な活動に触れたりできて、とても良い経験となりました。編集に誘ってくださった編集長原田裕康先生、私の担当記事の誤記をこっそり教えてくれた副編集長片岡力先生、楽しい原稿を書いてくださった私の担当記事の執筆者辻村幸宏先生と山内邦昭先生に感謝申し上げます。(古閑世里菜)

久しぶりに副編集長として登板、のほろほろ原田編集長に頼りっぱなしでした。原田編集長、誠にお疲れ様でございました。先日、会派研修「事務所経営勉強会」のパネリストとして登壇し、私の所属する弁護士法人かなめの取り組みを紹介させていただきました。研修およびその後の打上げでは、諸先輩方から貴重なご意見と励ましをたくさん頂き、大変有意義な時間となりました。会派ってやはり良いものだなあ、としみじみ。(琴 太一)

高校の先輩である原田編集長にお誘いいただき、初めてかわらばんの編集に携わりました。普段何気なく読んでいる会報が多くの先生方の協力の上で作成されていることを改めて感じる事ができました。読者の皆様にもお楽しみいただければ幸いです。原稿の作成にご協力いただいた先生方、本当にありがとうございます。(片岡 力)